

国語

「 古典講読 」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 古典としての古文を読むことで、我が国の文化と伝統に対する関心を深める。 2 古文を読み味わうための基本的知識や言語事項を身に付け、古文の奥深さに触れる。 3 生涯にわたって古文に親しむ態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『004 高等学校古典講読（源氏物語 枕草子 大鏡）』（三省堂）

2 学習計画及び評価方法等

(1)学習計画等

学 期	学 習 内 容	配 当 時 間	月	学 習 の ね ら い	備 考 （学習活動の特記事項、他教科・総合的な学 習の時間・特別活動等との関連など）	考 査 範 囲			
第 1 学 期	源氏物語		4	・物語文学の代表作である『源氏物語』を読み味わい、古文の奥深さを実感する。	・インターネットや図書館の利用。 ・インターネットや図書館の利用。 ・『伊勢物語』等の歌物語との読み比べ。	第 1 学 期 中 間 考 査			
	桐壺								
	いづれの御時にか・皇子誕生	2		・文法事項の中でも特に敬語法に注意し、人間関係を正確に把握する。					
	高麗人の観相	1		・光源氏の生い立ちと、藤壺に対する思慕の情を理解する。					
	藤壺思慕	1		・背景に描かれた風物の効果を考える。					
	夕顔								
	八月十五夜	2		・平安時代の習俗や風習について調べる。					
	廃院の怪	2	5	・物語における和歌の効果を読み味わう。					
	若紫			・帝と光源氏、藤壺の心情の対照を読み比べる。					
	北山の垣間見	2		・六条御息所の心情を、その立場や周囲の状況を考え合わせて理解する。					
	野辺の若草	1							
	紅葉賀								
	皇子参内	1							
	葵								
	車争ひ	1							
	学 期	物の怪の出現	2	6			・『源氏物語』における怪異譚の描かれ方を考える。	・説話等に描かれた怪異譚との読み比べ。 ・様々な貴種流離譚について調べる。	第 1 学 期 期 末 考 査
		須磨					・須磨に退去した光源氏と従者たちの心情を理解する。		
		心づくしの秋風	2				・古典の引用が生む効果を読み味わう。		
		明石					・これまでのあらすじを踏まえて、故桐壺院と光源氏の親子関係を理解する。		
嵐の夜		2							
薄雲									
母子の別れ		2		・明石の君親子の離別や藤壺との死別に見られる、普遍的な悲しみを理解する。					
藤壺の死		2	7	・明石の君と紫の上の互いの評価を、古語の意味を正確にとらえて理解する。					
藤裏葉									
明石の姫君の入内		2							
	【課題・提出物等】 授業で使用了プリントやワークシート（各単元 1 枚程度） 相互評価カード 授業ノート								
	【第 1 学期の評価方法】 提出物の評価と定期考査の成績、授業時に実施する小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10 段階で評定します。 評価の内訳は、提出物の評価 10 %、定期考査の成績 60 %、小テスト 10 %、学習活動への参加の姿勢や態度 20 %です。								

第2学期	源氏物語		9				
	若菜 上						
	女三の宮の降嫁	2		・ 女三の宮の降嫁に際しての、光源氏と紫の上の心情を理解する。	・ インターネットや図書館の利用。	第2学期 中間 考 査	
	柏木			・ 平安時代の習俗や風習について調べ、現代のものとの関連を探る。			
	五十日の祝ひ	2		・ 光源氏の言動から、紫の上への思いを読み味わう。			
	幻						
	形見の文	2					
	浮舟			・ 「宇治十帖」の世界を読み味わう。			
	匂宮との逢瀬	1		・ 和歌の贈答から、匂宮と浮舟の心情を理解する。	・ 書簡体小説との読み比べ。		
	浮舟の決意	2	10	・ 物語の中に配された手紙の役割を考察する。			
	夢浮橋			・ 使者としての小君の役割を踏まえつつ、薫と浮舟の心情を理解する。			
	小野の里訪問	1					
	夢の浮橋	1					
	枕草子			・ 随筆作品の代表である『枕草子』を読み味わい、筆者の美意識や鋭敏な感覚を実感する。			
	第一段			・ 描かれた四季の情景を想起しながら音読する。			
	春はあけぼの	1					
	第二二段						
	すさまじきもの	2		・ 類聚的章段や随想的章段を読み味わい、筆者の人間観察の特徴や自然に対するとらえ方を理解する。			
	第三四段						
	木の花は	1					
第三八段		11		・ インターネットや図書館の利用。 ・ 日本史との関連。	第2学期 期 末 考 査		
鳥は	1		・ 具体例の対置や分析の仕方に認められる工夫を理解する。				
第三九・七二段							
あてなるもの・ 							

第 3 学期 学 期	大鏡 序	1	・ 歴史物語の代表である『大鏡』を読み味わい、歴史を動かした人物たちの躍動的な姿を実感する。	・ 日本史との関連。	第 3 学期 期 末 考 査
	雲林院の菩提講	1	・ 『大鏡』の特徴である対話形式を生む 語りの場 を理解する。	・ インターネットや図書館の利用。	
	かくて講師待つほどに	2			
	菅原道真				
	東風吹かば	2	・ 死後、現人神としてまつられた菅原道真の心情を、和歌や漢詩を通して理解する。	・ インターネットや図書館の利用。	
	都府楼の鐘	2			
	藤原師輔				
	百鬼夜行	1			
	藤原氏の相克		・ 兼通と兼家兄弟の関係に見られる権力争いの激しさと、両者の心情を理解する。		
	最後の除目	2			
	【比べて読んでみよう】		・ 『大鏡』と『枕草子』を読み比べ、伊周や隆家の描かれ方の違いを実感し、その理由を理解する。		
	伊周・隆家	2			
	藤原道長				
強運	2	・ 自信に満ちあふれた道長の強さを読み味わう。	・ 日本史との関連。		
競射	1				
姉、詮子	1				
懐旧談					
鶯宿梅	1				
講師登場		・ 『大鏡』の世界の構築の仕方を理解する。			
老人の行方	1				
期	【課題・提出物等】 授業で使ったプリントやワークシート（各単元 1 枚程度） 相互評価カード 授業ノート				
	【第 3 学期の評価方法】 提出物の評価と定期考査の成績、授業時に実施する小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10 段階で評定します。 評価の内訳は、提出物の評価 10 %、期末考査の成績 60 %、小テスト 10 %、学習活動への参加の姿勢や態度 20 %です。				

【年間の学習状況の評定方法】 「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の観点で評価した、第 1 学期、第 2 学期、第 3 学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として 5 段階で評定します。
--

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・「古典講読」は、「国語総合」で学んだ古典の基礎を発展させ、我が国の文化と伝統に対する関心を深める科目です。我が国の代表的な古典作品の文章を読み、人間や社会・自然などについて、自分の考えを深めたり発展させたりする契機にしましょう。また、語句の意味・用法や文法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにしましょう。 ・本文をノートに写し、分からない語句は辞典を使って調べておきます。口語訳まで自力でやることを予習とするよう習慣づけましょう。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。特に文法は繰り返し学習し、理解を深めましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・授業中に感じた疑問などは、その場で質問をしてください。 ・課題等の提出物は、期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うように努めてください。

(2) 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評 価 方 法
関心・意欲・態度	・ 古典に対する関心を深め、国語を尊重しその向上に努めているか。 ・ 進んで自分の意見や考えを表現し、伝え合おうとしているか。 ・ 言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫しているか。 ・ 古典の文章や作品の内容を、構成や展開に即して的確にとらえようとしているか。 ・ 古典の文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしているか。 ・ 古典の文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しもうとしているか。 ・ 古典を読んで、日本文化の伝統や特質について考えているか。	・ 学習活動への参加の姿勢や態度 ・ 授業の予習 ・ 授業ノート ・ 提出された課題
話す・聞く能力	・ 文章の調子などを味わいながら、音読、朗読をしているか。 ・ 古典に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などについて話し合っているか。 ・ 自分の考えをもち、筋道を立てて意見を述べているか。 ・ 相手の立場や考えを尊重して話し合っているか。 ・ 話し方や言葉遣い、文体などの表現を、目的や場に応じて工夫しているか。 ・ 相手の話を的確に聞き取って、要旨をとらえることができるか。	・ 学習活動への参加の姿勢や態度 ・ 発表・報告・話し合いなどの姿勢や態度 ・ 授業での発言 ・ 授業ノート ・ 提出された課題
書く能力	・ 古典を読んで関心をもったことなどについて調べ、文章にまとめているか。 ・ 作品を読み、言語感覚を豊かにしようとしているか。 ・ 書くために必要な情報を収集、整理しているか。 ・ 自分の考えをまとめたり深めたりしながら、筋道を立てて文章を書いているか。 ・ 言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して書いているか。 ・ 様々な表現効果について学習したことを、書くことや推敲に役立てているか。	・ 学習活動への参加の姿勢や態度 ・ 授業ノート ・ 提出された課題 ・ 定期考査
知識・理解	・ 古典を読む上で必要な知識を積極的に身に付けようとしているか。 ・ 語句の意味、用法及び文の構造を、辞書などを用いて調べ、理解しようとしているか。 ・ 作品の背景にある習俗や風習、時代の状況などについて、理解を深めようとしているか。	・ 定期考査 ・ 小テスト ・ 授業ノート ・ 提出された課題